

児童・生徒の実態	本校の教育目標		保護者や教師の願い
	ヘレンケラー女史が、本校に銭として残してくれた「英知・忍耐」という言葉を信条として、視覚等の障害を克服し調和のとれた人格の形成に努め、社会の一員として自主的・積極的に生きる人間を育成する。		
児童・生徒の実態	「志教育」の目標		保護者や教師の願い
	将来のより豊かで充実した生活を実現させるため、コミュニケーション能力の向上に努め積極的な社会及び福祉インフラの活用を促すとともに社会の一員としての自覚をそれぞれの実態に応じて図る。		

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・他者からの働きかけを受け入れることができる。 ・教師や友達と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 ・教師や友達と協力した行動をとることができる。 ・教師や友達の考えを正しく理解しようとすることができる。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることができる。	・実態に応じた基本的生活習慣を身に付けることができる。 ・基礎的体力の向上を図る。 ・一日の流れを理解して行動することができる。 ・遊びの種類や幅を広げることができる。 ・バランスよく安全な摂食を心掛けることができる。 ・公共交通や公共施設を利用した学習を楽しむことができる。 ・苦手な学習にもまじめに取り組むことができる。	・学校や社会のルールを守って生活することができる。 ・学級の係活動など与えられた仕事をきちんとやることができる。 ・作業学習におけるリサイクル活動を通して環境改善への関わりを果たす。(中高2組)

		小学部	中学部	高等部普通科
学部目標		・健康で、進んで活動する子を育てる。(明るく) ・よく考え、進んで学習する子を育てる。(楽しく) ・心豊かで、進んでまわりにかかわる子を育てる。(なかよく)	・目標に向かって努力する生徒を育てる。 ・豊かな感性や、思いやりの心を持つ生徒を育てる。 ・心身の健康や安全に配慮し、たくましく生きる生徒を育てる。	・自分の周辺の人々と楽しくかかわる生徒をそだてる。 ・周囲の状況を正しく理解し、積極的に学習する生徒を育てる。 ・心身を意欲的に活動させ、その向上に努める生徒を育てる。
日常生活の指導		・呼名に明るく返事をする。〈かかわる〉 ・朝の会の司会を教師といっしょに行う。〈かかわる、はたす〉	・呼名に対しはっきりと相手に伝わるよう返事する。〈かかわる〉 ・日直の仕事を教師と協力して行う。〈かかわる、はたす〉	・呼名に対しはっきりと相手に伝わるよう返事する。〈かかわる〉 ・日直の仕事をみんなと協力して行い、わからない場面では教師に助けを求める。〈かかわる、もとめる、はたす〉
自立活動	身体活動	・いろいろな身体活動を教師や友達と行うことで体を動かすことの楽しさを味わう。〈かかわる〉 ・ランニングなどを通して基礎体力の向上を図る。〈もとめる〉	・いろいろな身体活動を教師や友達と行うことで体を動かすことの楽しさを味わう。〈かかわる〉 ・ランニングなどを通して基礎体力の向上を図る。〈もとめる〉	・教師や友達と行い、体を動かすことの楽しさを味わう。〈かかわる〉 ・ランニングなどを通して基礎体力の向上を図る。〈もとめる〉 ・ルールをももって身体活動に取り組む。〈はたす〉
	作業学習		・与えられた仕事を教師と一緒にきちんとおこなう。〈かかわる、もとめる、はたす〉 ・和紙作りや空き缶つぶしが社会の役に立つ活動であることを意識する。〈かかわる、はたす〉	・作業手順通りに仕事を遂行する。〈かかわる、もとめる、はたす〉 ・和紙作りや空き缶つぶしの作業を通して環境活動に参加していることを意識する。〈かかわる、はたす〉
	音楽活動	・みんなで歌ったり演奏したりして音楽の楽しさを感じ取る。〈かかわる〉	・合唱や合奏を通して音楽の楽しさを味わう。〈かかわる、はたす〉	・合唱や合奏を通して音楽の楽しさを味わうとともに協力することの大切さに気付く。〈かかわる、はたす〉
	教科的・学活動	※個別の年間活動計画に基づき「志教育」の指導内容を設定する。		
行事的活動		※個別の年間活動計画に基づき「志教育」の指導内容を設定する。		
		・校外学習を通して教師との関わりや地域とのふれあいを深める。〈かかわる、もとめる、はたす〉	・校外学習を通して教師との関わりや地域とのふれあいを深める。〈かかわる、もとめる、はたす〉 ・公共施設や市バス、地下鉄などの利用に慣れる。〈もとめる〉	・校外学習を通して教師との関わりや地域とのふれあいを深める。〈かかわる、もとめる、はたす〉 ・公共マナーを守り、市バスや地下鉄などを利用して目的地まで行く。〈かかわる、もとめる〉